

研究機関：広島大学

研究課題名	原発性肝癌患者における治療成績についての検討に関する研究
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科消化器・移植外科学 教授 大段秀樹
研究期間	2019年4月8日(倫理委員会承認後)～ 2025年12月31日
対象者	1991年1月から2030年12月の間に、広島大学病院消化器・移植外科で原発性肝癌に対して肝切除術を受けられた患者。
意義・目的	肝細胞癌をはじめとする原発性肝癌の多くは多くは5大癌疾患の一つであり、癌関連死においても2番目に多く、比較的予後に大きく影響します。臓器不足の結果、肝移植は限定されており、外科的切除が治療において最も効果的です。根治切除後も高い再発率の観点から、長期予後は近年の治療進歩にも関わらず、いまだ十分ではありません。したがって、信頼性のあるシンプルな予後マーカーを用いて予後の悪い可能性のある患者を同定することは予後を改善するために必須といえます。
方法	本研究は、該当期間に当てはまる症例に対して診療録（カルテ）情報を調査して行う後ろ向き研究です。生存期間や疾患におけるリスク因子を統計解析を用いて評価します。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科消化器・移植外科学 教授 大段秀樹
個人情報保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5222 広島大学大学院医系科学研究科 消化器・移植外科学 職名 特任講師 小林 剛 広島大学大学院医歯薬保健学研究科 消化器・移植外科学 職名 大学院生 氏名 山本将輝